



【先週 9月18日～9月24日の外食の出来事】

■ゼンショーHD、劣後ローンで100億円調達

ゼンショーホールディングスは20日、新規劣後特約付きローンで100億円を調達すると発表した。借り入れは9月30日に実行する。2018年6月に資金調達をした300億円の既存の劣後特約付きローンの返済などにあてる。

■精養軒、上半期(令和3年2月～7月)の業績

令和5年1月期 第2四半期(令和4年2月～7月)の業績を発表。売上高8億2600万円(対前年同期比146.9%増)、営業損失2億5600万円(-)、経常損失2億1100万円(-)、四半期純損失2億1600万円(-)であった。

■NATTY SWANKYホールディングス、上半期(2022年2月～7月)の業績

2023年1月期 第2四半期(2022年2月～7月)の業績を発表。売上高28億5100万円(対前年比-)、営業損失4800万円(-)、経常損失4600万円(-)、親会社に帰属する四半期純損失2500万円(-)であった。

■丸千代山岡家、上半期(2022年2月～7月)の業績

2023年1月期 第2四半期(2022年2月～7月)の業績を発表。売上高79億9700万円(対前年同期比-)、営業利益1100万円(-)、経常利益2700万円(-)、四半期純利益9200万円(-)であった。

■梅の花、第1四半期(2022年5月～7月)の連結業績

2023年4月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高62億3800万円(対前年同期比37.7%増)、営業損失1億5200万円(-)、経常損失1億4800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失4300万円(-)であった。

■ギフト、第3四半期(2021年11月～2022年7月)の連結業績 増収増益

2022年10月期 第3四半期の連結業績は売上高122億2000万円(対前年同期比25.2%増)、経常利益18億500万円(同43.2%増)、四半期純利益12億3400万円(同43.1%増)と増収増益を確保した。

■8月の訪日外客数は169,800人と5ヶ月連続で10万人を上回る

日本政府観光局は、8月の訪日外客数推計値を発表。訪日外客数は、169,800人と10万人を上回った。市場別では、ベトナムが33,000人、韓国28,500人、米国15,800人、中国12,300人の4ヶ国で1万人を超えた。

■鳥貴族、米国ロサンゼルスに再挑戦

株式会社鳥貴族ホールディングスが、コロナ禍で一旦保留としていたが北米への進出に挑戦し、23年7月期には米国におけるブランド・出店戦略の定める。同社は海外進出支援企業と契約のうえ8月より現地視察を再開させる。

■物語コーポレーション、個人情報データを誤削除し消失

物語コーポレーションにて個人情報を誤って削除し消失。電磁媒体に記録していた源氏総本店、焼肉きんぐ、ゆず庵、お好み焼本舗、焼肉一番カルビ、焼肉かるびとはらみが保有していた顧客個人情報を誤って削除した。